

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成25度～平成29年度
事業実施地区名 （都道府県名）	（いなだに） 伊那谷森林計画区 （長野県）		事業実施主体	中部森林管理局 南信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当事業は、伊那谷森林計画区の伊那市を含む5市8町10村に所在する70,606haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、長野県の南東部に位置し、森林の現況はコメツガ等の亜高山性の針葉樹を主体とした天然林が多く、人工林33%、天然林67%となっている。人工林の樹種別面積割合は、カラマツ79%、ヒノキ14%、その他7%で、カラマツが占める割合がきわめて高い地域である。</p> <p>また、当地域は、下流部の生活用水等の重要な水源地帯であるとともに、大断層の「糸魚川－静岡構造線」と「中央構造線」の二大構造線が通るなど、複雑な地形、地質の条件から、水土保持や土砂の流出・崩壊の防備等の国土保全の役割が重要となっている。</p> <p>このほか、優れた自然景観等に恵まれた北八ヶ岳自然休養林、八ヶ岳連峰、霧ヶ峰周辺、中央アルプス等の観光地及び森林を利用した森林浴等の保健休養の場、登山などの場所として、森林レクリエーション資源が豊富であることから、観光資源としての特性も兼ね備え、首都圏及び中京圏等から多くの人が訪れている。</p> <p>このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>			
	主な事業内容	森林整備	更新面積 保育面積	45 ha 2,495 ha
		路網整備	開設延長 改良延長	38.7 km 2.0 km
	総事業費	854,742 千円		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	9,617,432 千円		
	総 費 用 (C)	976,698 千円		
	分析結果 (B/C)	9.85		
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見				
評価結果	<p>・必要性：地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>・有効性：事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて、木材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。</p> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されていると認められる。</p>			

別紙様式 7

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：伊那谷森林計画区（いなだに）

南信森林管理署

（都道府県名：長野県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,199,951	
	流域貯水便益	607,840	
	水質浄化便益	1,286,693	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,443,605	
環境保全便益	炭素固定便益（樹木固定分）	244,865	
	炭素固定便益（森林土壌蓄積分）	82,253	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,542,850	
	木材利用増進便益	40,179	
	木材生産・確保増進便益	142,669	
	木材生産確保・増進便益（森林整備分）	90,253	
	木材生産確保・増進便益（路網整備分）	52,416	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	7,392	
	森林整備促進便益	18,319	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	0	
維持管理費縮減便益		816	
総便益（B）		9,617,432	
総費用（C）		976,698	
費用便益比（B/C）		9.85	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成25度～平成29年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（きそがわ） 木曾川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 東濃森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、木曾川森林計画区の中津川市を含む6市1町に所在する21,139haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県の南東部に位置し、森林の現況はヒノキを主体とした人工林が多く、人工林49%、天然林51%となっている。人工林の樹種別面積割合は、スギ10%、ヒノキ75%、カラマツ4%、その他が11%で、ヒノキの占める割合がきわめて高い地域である。</p> <p>また、当地域の北部は、急峻な地形をなし中央に阿寺断層が走っており、南部は、花崗岩が深層風化を受け小崩壊地が多いなど、地形、地質等の条件から、豪雨災害等により森林整備に対する関心が高まる中で山地災害防止、中京圏の水源としての役割が重要となっている。</p> <p>このほか、自然景観に恵まれた地域については、裏木曾県立自然公園等の自然公園に指定されており、登山や自然観察など森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、銘柄材「東濃檜」の主要な生産地でもあり、国有林においても、木材の安定的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく、優良材の安定供給を確保するため、長伐期施業を実施するとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">164 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,424 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">4.8 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.1 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 486,322 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	164 ha			保育面積	1,424 ha		路網整備	開設延長	4.8 km			改良延長	1.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	164 ha																
		保育面積	1,424 ha																
	路網整備	開設延長	4.8 km																
		改良延長	1.1 km																
費用対効果分析	総便益（B）	7,036,950 千円																	
	総費用（C）	631,289 千円																	
	分析結果（B/C）	11.15																	
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見																			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて、東濃ヒノキの安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

別紙様式 7

整理番号 4

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：木曾川森林計画区（きそがわ）

東濃森林管理署

（都道府県名：岐阜県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,654,654	
	流域貯水便益	379,521	
	水質浄化便益	803,371	
山地保全便益	土砂流出防止便益	947,658	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	250,883	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	31,895	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	2,707,390	
	木材利用増進便益	4,843	
	木材生産・確保増進便益	243,277	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	170,121	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	73,156	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	2,756	
	森林整備促進便益	9,439	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	798	
維持管理費縮減便益		465	
総便益 (B)		7,036,950	
総費用 (C)		631,289	
費用便益比 (B/C)		11.15	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成25度～平成29年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひがしみかわ） 東三河森林計画区 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、東三河森林計画区の新城市を含む2市2町1村に所在する7,634haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、愛知県の東部に位置し、森林の現況はスギ、ヒノキを主体とした人工林が多く、人工林90%、天然林10%となっている。人工林の樹種別面積割合は、スギ12%、ヒノキ77%、その他が11%で、ヒノキの占める割合がきわめて高い地域である。</p> <p>また、当地域は、豊川、宇連川流域に位置し、豪雨災害等により森林整備に対する関心が高まる中で、広域にわたる流域の山地災害防止、東三河地域の主要な水源としての役割が重要となっている。</p> <p>このほか、自然景観に恵まれた地域については、天竜奥三河国定公園、段戸高原県立自然公園等の自然公園に指定されており、自然観察教育林のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている地域であり、森林浴等保健休養の場としても多くの人々に利用されている。</p> <p>また、「三河材」の生産地であり、流通・加工団地によるスギ・ヒノキの産地化形成が進みつつあることから、国有林においても、木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるべく、優良材の安定供給を確保するため、長伐期施業を実施するとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">177</td> <td style="width: 10%;">h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,226</td> <td>h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.5</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7</td> <td>km</td> </tr> </table> <p>総事業費 725,683 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	177	h a			保育面積	1,226	h a		路網整備	開設延長	11.5	km			改良延長	0.7	km
主な事業内容	森林整備	更新面積	177	h a																			
		保育面積	1,226	h a																			
	路網整備	開設延長	11.5	km																			
		改良延長	0.7	km																			
費用対効果分析	総 便 益 (B)	6,043,721	千円																				
	総 費 用 (C)	871,989	千円																				
	分析結果 (B/C)	6.93																					
中部森林管理局事業評価技術検討会の意見																							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 事業計画は、保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて、三河材の安定供給を行うなど山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 3

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：東三河森林計画区（ひがしみかわ）

愛知森林管理事務所

（都道府県名：愛知県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,743,412	
	流域貯水便益	335,683	
	水質浄化便益	710,582	
山地保全便益	土砂流出防止便益	976,309	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	250,858	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	32,860	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,590,409	
	木材利用増進便益	30,837	
	木材生産・確保増進便益	349,364	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	215,830	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	133,534	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	12	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	4,414	
	森林整備促進便益	18,086	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	565	
維持管理費縮減便益		330	
総便益 (B)		6,043,721	
総費用 (C)		871,989	
費用便益比 (B/C)		6.93	